

こんにちは！朝の気温が0℃を下回るくらい寒くなってきましたね…。寝る時いつもベッドに来ないうちの猫ちゃんもこの時期はベッドと一緒に寝てくれて毎朝ほっこりしています！

今月は、エコーを使い妊娠牛の双子の映り方、発見の仕方の一部を紹介します！

双子には、一卵性と二卵性の2タイプ、片方の子宮角にふたつの胎児が存在する片側性双胎、両側の子宮角に胎児が1頭ずつ存在する両側性双胎の2パターンがあります。

一卵性は1つの卵に1つの精子が受精したあと、その受精卵が2つに分かれて生まれたものです。二卵性は2つの卵にそれぞれ別の精子が受精して生まれたものです。ただし、牛の場合ほとんどが二卵性であることがわかっています。

今回は二卵性の双子(片側性双胎)のエコー画像を紹介します！

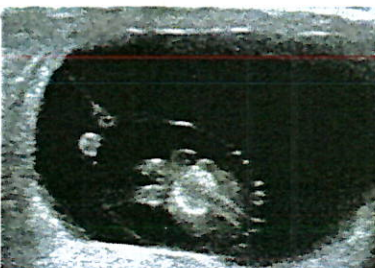
妊娠鑑定は、妊娠牛の黄体確認をし、子宮を見て胎児の心拍を確認していきます。



こちらが今回妊鑑した牛の黄体になります。1つの卵巣に黄体がふたつ存在しているのがわかります。黄体が卵巣にふたつ以上存在する牛の場合は双子の可能性があります。黄体がふたつということは卵胞が二つ排卵したという事になります。



こちらが子宮になります。黒い部分が羊水で、左真ん中の白い線が 双胎の胎膜が重なっている部分 ( twin line ) と呼ばれるもので、胎児が2頭以上存在する場合に見ることが出来ます。しかし両側性双胎(左右の子宮角それぞれに胎児が存在する)の場合は見られないこともあります。



胎児を発見しました。左上の白い線は twin line です。この子の他にもう一頭の胎児も確認しております。二頭とも心拍が正常に作動しており、どちらも健康的な胎児であるという事がわかります。

触診では判断するのが難しい双子もエコーを熟練することにより確実に発見することができます。妊鑑時に双子だということがわかれば、死産、流産率の増加、早産など様々なリスクに早めに備えることができます。